



いきいき

品種改良拠点施設として農業の振興へ

地方独立行政法人・北見農業試験場の新しい場長として着任した志賀さん。「近年の農業情勢は大きく変化している。北見農業試験場の農業技術開発の拠点でもあり、こういう時代にこそ、技術開発が役に立つ」とし、オホーツクそして全道の試験場として農業振興に向けた抱負を話していました。

志賀さんは、兵庫県姫路市出身ですが、「小学校から現在まで北海道育ちです」と、道産子”を強調。北海道大学農学部を卒業後、昭和58年に中央農業試験場（長沼町）に入り、北海道農政部などを経て、中央農業試験場農業環境部長から4月1日付けで北見農業試験場に着任しました。



志賀 弘行さん (弥生 54歳)

「北見農業試験場は、2回目です。平成11年から5年間、土壌肥料科科長を務めました。今回は、単身赴任ですが、もともと登山などアウトドアを趣味としており、一人暮らしや家事などは、苦になりません」

「私の専門は、土壌と作物の栄養です。肥料のやり方や排水など畑の基盤改良などについてです。また、人工衛星の画像解析で生育分析も行います。畑などの衛星画像を取り寄せ、パソコンの画面上で作物の生育の違いを色で判断したり、タンパク質の含有率を調べ、米のおいしさを見分けるなど、農業計画や作物の管理に役立てるものです」

「訓子府町は農業後継者が多いと思いますが、全道的には農家の数が減少し、TPP問題など農業情勢は大きく変化しています。そんな中で、品種改良・開発の拠点試験場として、さまざまな農業技術の開発が地域のために役に立つよう、考えていきたい。もちろん北見農業試験場から生まれたスノーマーチなどさまざまな農作物の発展に向けても応援していきたい」



健康管理から介護予防まで

シリーズ⑬

厚生労働省の統計によると、死因順位別にみて第1位は、悪性新生物、第2位は心疾患、第3位が脳血管疾患となつています。(2010年) 増え続けるがんの中でも大腸がんの増え方は急激で、2020年には胃がんや肺がんを抜いてトップになると予想されています。

「大腸がん」ってなに？

大腸は、筒状の臓器で、大腸の壁はいくつかの層が重なってできています。その最も内側を覆う粘膜から発生する病気が「大腸がん」です。

一部の正常な粘膜の細胞ががん物質など何らかの影響を受けてがん細胞となります。時間がたつと、がん細胞が増えてきます。やがてがん細胞が何兆という数に達すると「大腸がん」として検診・検査を通じて認識できるようになります。

大腸には「結腸」と「直腸」の部分があるため、「大腸がんはがんが発生する場所によって、「結腸

運動・栄養・休養

“大腸がん検診を受けましょう”

がん、「直腸がん」という呼び方がされる場合もあります。自覚症状なくても、まず検診を早期の大腸がんではほとんど自覚症状を感じることはありません。症状を感じてから病院で見つかるのは進行がんになっていることが多いと言われ、早期の段階でがんを見つけ治療するためには、早めに定期的な検診を受けることが大切です。気軽に便潜血検査を受けましょう

大腸がん検診である便潜血検査は、便の中に含まれる大腸がんやポリープから出血した目に見えない微量な血液を検出します。食事制限もなく自宅少量の便を取るだけの手軽な検査です。便潜血検査を毎年受けることで、大腸がんによる死亡が60%以上低くなることや、厚生労働省の研究班でも報告されています。

町では、毎年集団健診に合わせ大腸がん検診を実施しています。今年、6月、7月、12月、1月に合わせて10日間実施します。ぜひ定期的に検診を受けましょう。

今月の担当 保健師 大里 和美

介護・支援・予防

わたしたちの国民年金

よくある質問 Q&A

Q…現在、会社員として厚生年金に加入しています。大学生時代と就職するまでの間、国民年金に加入していましたが、保険料は免除されていました。将来、保険料が免除されていた期間は年金が減額されると聞きましたが、今からでも納入することはできないのでしょうか？

A…10年以内であれば保険料を古い期間から順に納付（追納）することができます。

保険料が免除された期間は、免除承認内容により、将来年金額への反映割合が変わってきます。また、猶予（学生納付特例制度、若年者納付猶予制度）された期間は、将来受ける年金の

保険料納付は便利な口座振替で

受給資格期間には算入されますが年金額には反映されません。

つまり、全額納付した場合と比べて将来受給する年金額が少なくなるわけです。将来受け取る年金額を増やすために追納することをお勧めします。

問合せ 町民課戸籍年金係 (☎ 47-2203 役場1階 窓口1番)

	平成24年度中に追納する場合の金額(1か月分)			
	全額免除	¼納付(¾免除)	½納付(半額免除)	¾納付(¼免除)
14年度分	14,940円	—	7,470円	—
15年度分	14,720円	—	7,360円	—
16年度分	14,510円	—	7,260円	—
17年度分	14,560円	—	7,280円	—
18年度分	14,610円	10,950円	7,300円	3,650円
19年度分	14,640円	10,970円	7,320円	3,650円
20年度分	14,760円	11,070円	7,370円	3,690円
21年度分	14,840円	11,120円	7,420円	3,700円
22年度分	15,100円	11,320円	7,550円	3,770円
23年度分	15,020円	11,260円	7,510円	3,750円

くねっがフアン

「少しでも早く仕事に慣れて、生活も落ち着いたら、小学校から高校まで続けていた吹奏楽を始めたいと思っています」

「今は先輩方に教わりながら、食事などの介助の仕事をしています。お年寄りとの会話などが重要な仕事です。これからもっと、お年寄りとのコミュニケーションを取り、信頼される職員になるようにがんばります」

「高校在学中に介護の仕事に就きたいと思い、卒業後、北見市の福祉専門学校に進学しました。在学中に介護福祉士の資格を取得し、就職することができました」



菅野 由果さん (西幸町 20歳)

“お年寄りに信頼される職員に”